



重要文化財「札幌農学校第2農場」の 施設内部公開について（お知らせ）

施設公開の概要

1. 重要文化財「札幌農学校第2農場」は冬期間の休館を終え、下記により模範家畜房と穀物庫の屋内を一般公開します。なお、建物外観や前庭は通年公開です。
日程：4月29日～11月3日（毎日10時～16時、各月第4日曜日休館、入場料無料）
所在地：北海道大学札幌キャンパス内、エルムトンネルのほぼ直上（札幌市北区北18西7丁目）
地下鉄南北線北18条駅より西方向に徒歩6分
2. 前庭には、北国に春を告げる「キバナノアマナ」の群落があり、例年4月下旬からいっせいに開花しはじめ、黄色い星が点々と地面にまかれている様子は、はっとするほど綺麗な眺めです。

施設と展示の概要

- ・「札幌農学校第2農場」は、クラーク博士の大農経営構想により、明治10年に建築した模範家畜房（モデルバーン）や穀物庫（コーンバーン）を始めとするわが国最古の洋式農業建築群を揃え、ここから日本畑作・酪農の技術普及が進んだため、国の重要文化財、北海道産業遺産などに指定されています。
- ・当公開施設内には、日本全国の鋤、開拓使顧問ケプロンが明治6年までに輸入したアメリカ製畜力農具、札幌農学校が明治30年までに揃えた大規模酪農経営体の洋式高性能農具などを展示しています。これらを見本にして国内の農機具産業が育ちました。
- ・「キバナノアマナ」（アイヌ語；チカプトマ）は、ユリ科キバナノアマナ属の多年草で、北海道・本州中部以北の山野に自生しますが、開発等によって大きな群落が減少しています。地下に10～15mmほどの鱗茎（球根）があり、早春に葉と同時に花茎を形成し、根出葉は線形で厚ぼったくて柔らかいものです。4月の終わり頃から5月にかけて、花茎の先端に数個～10個の花を咲かせます。開花直後の花は黄緑ですが、やがて黄色になります。和名で黄花甘菜と書き、名の通り甘くて山菜としても知られています。



お問い合わせ先

北海道大学理学・生命科学事務部事務課 博物館担当

TEL: 011-706-2658 FAX: 011-706-4029 E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp